

# 「JAとの取引拡大」掲げ

## 青果物 中継輸送・集荷に対応



バナナとイチゴを混載するための積み込み作業を実施(ファーマインド川崎センター)

### 物流支える体制強化

全日本ライン(下戸章弘社長、東京都千代田区)はファーマインドグループの総力を結集し、ベースカゴのバナナと国産の青果物を混載して納める「統合物流」を加速度的に前進させていく。2020年12月期の重点施策に「JA(農業協同組合)との取引拡大」を掲げ、車両の確保に苦勞している産地の中継輸送・集荷ニーズに対応。市場外流通の進展など急速に変化する青果物の物流を支える体制を強化する。

### 全日本ライン

を据えた結果、JAふくおか八女から受託した物流事業の売り上げが、18年12月期比で20倍の年間2千万円に伸長。東北地方のJAとの取引額も同じく1億円に倍増させた。

今後ファーマインドグループは青果物の安定供給に寄与するため、全国にまなく配置するセンターを中継基地として活用するとともに、大半の量販店とパイプを有する配送網の活用を生産者に提案する取り組みを促進。バナナやパイナップル、キウイフルーツとJAの青果物を1台の車両に混載するサービスを通じて、青果物業界が直面している物流課題を解決する。

併せて、生産者も物流業界と同様に人手不足に直面しているため、イチゴの選別やパック詰めといった流通加工業務をファーマインドのセンターなどで請け負う態勢も整備していく。

全日本ラインでも、これまで輸入青果物を主体に扱ってきたが、物流に関する相談が複数のJAから相次いで寄せられているため、コールドチェーン(低温流通網)などの配送品質を武器に各地の要請に応える方針。インフラの増強も含めて積極的に受け皿を担う考えの下、配送網も550台、600台へと段階的に拡充していく。

協力会社を増やすことと並行し、自社ドライバーの確保及び定着を図る施策も実施。基本給を一昨年から昨年にかけて数万円アップしたほか、4月からは年間休日数を9日増の87日間に増やす。

## 神戸でセンター本格稼働

### 富士物流 中重量品貨物に対応

富士物流(渡部能徳社長、東京都港区)は12月23日、神戸市須磨区で「西神物流センター」を同日に本格稼働させた、と発表した。親会社の三菱倉庫が11月29日に竣工させた西神配送センターの2期棟内で開設。中重量品貨物に対応した西日本エリアの配送センターと位置付け、今後、更なる高効率・高品質な物流サービスの提供に努めていく。

国方面の西日本広域をカバーできる立地。4階建ての2期棟(延べ床面積5万7400平方メートル)のうち、3、4階の一部(8660平方メートル)を利用する。庫内には天井クレーン4基を備え、配電盤など中重量品貨物の保管・運送を行うための施設を整備・運営する。

シーエックスカーゴ(山田英孝社長、埼玉県桶川市)は初めて日野自動車のハイブリッド大型トラックを導入

し、12月20日に運行開始した。環境負荷低減とドライバーの疲労軽減を図る。関東配送センター久喜事業所(久喜市)に「日野プロフィア」1台を、小野営業所

に「日野プロフィア」1台を、それぞれ導入した。「日野プロフィア」はハイブリッド「アキュムレーター」搭載のハイブリッド車。これらにより、燃費を低減できる。低騒音・

12日には関東配送センター久喜事業所で納車式を実施(左が渋谷豊事業所長)

AI(人工知能)による低燃費走行と、安全装置の充実化も図られている。

管や荷扱い作業が可能だ。付帯業務を行うため、電気機械や精密機械などの製品検査業務に必要な電源設備を整備。更に、免震構造や非常用発電機など、BCP(事業継続計画)対策に向けた設備を完備するほか、太陽光発電設備やLED(発光ダイオード)照明など環境にも配慮した施設となっている。(井内亨)

ピレニーと業務提携

AIアシスト機器開発で

ペットボトルでユニホーム

1000万本を再利用

廃プラ削減推進

ピレニーと業務提携

AIアシスト機器開発で

ペットボトルでユニホーム

1000万本を再利用

廃プラ削減推進

佐川急便は、環境に優しい製品を選択し、購入の取組を進めている。セラーのユニホーム、ペットボトルをリサイクルして再生ポリエステルが製造されたユニホームが製造。5000リットルペットボトルを半袖長袖で8本再利用。用済みのユニホームも、リユースが可能な製鉄用の燃料サイクルしている。

佐川急便では、エコユニホームを年に創業50周年をデザインを刷新し、ペットボトルの再利用してきた。同社は「プラスチックの削減、環境を守る活していく」として

佐川急便は、環境に優しい製品を選択し、購入の取組を進めている。セラーのユニホーム、ペットボトルをリサイクルして再生ポリエステルが製造されたユニホームが製造。5000リットルペットボトルを半袖長袖で8本再利用。用済みのユニホームも、リユースが可能な製鉄用の燃料サイクルしている。

佐川急便は、環境に優しい製品を選択し、購入の取組を進めている。セラーのユニホーム、ペットボトルをリサイクルして再生ポリエステルが製造されたユニホームが製造。5000リットルペットボトルを半袖長袖で8本再利用。用済みのユニホームも、リユースが可能な製鉄用の燃料サイクルしている。

佐川急便は、環境に優しい製品を選択し、購入の取組を進めている。セラーのユニホーム、ペットボトルをリサイクルして再生ポリエステルが製造されたユニホームが製造。5000リットルペットボトルを半袖長袖で8本再利用。用済みのユニホームも、リユースが可能な製鉄用の燃料サイクルしている。

佐川急便は、環境に優しい製品を選択し、購入の取組を進めている。セラーのユニホーム、ペットボトルをリサイクルして再生ポリエステルが製造されたユニホームが製造。5000リットルペットボトルを半袖長袖で8本再利用。用済みのユニホームも、リユースが可能な製鉄用の燃料サイクルしている。

佐川急便は、環境に優しい製品を選択し、購入の取組を進めている。セラーのユニホーム、ペットボトルをリサイクルして再生ポリエステルが製造されたユニホームが製造。5000リットルペットボトルを半袖長袖で8本再利用。用済みのユニホームも、リユースが可能な製鉄用の燃料サイクルしている。

12日に締結した、と発表した。後付け型の運転補助機器で、内蔵されたステレオカメラが道路上の映像を常時撮影。AIを駆使して物体を認識・解析し、危険予測並びにアラームを発する。今回の提携に伴い、SBSロジコムは所有する500台の車両に搭載し、日常業務のな実証データを提供。SBSグループ、自動車教習所の協力し出し、ピレニーと並びにアラームを発する。今回の提携に伴い、SBS

更に、「我々のビジネスを伸ばすだけでなく、効率的な配送システムを構築することで、農家の手取り額を増やすことができる。そのためには、どの時期に、どんな青果物が、どのようなルートで流れているのか把握する必要がある。そうした中で新たなニーズやサービスが生まれる」と話している。

更に、「我々のビジネスを伸ばすだけでなく、効率的な配送システムを構築することで、農家の手取り額を増やすことができる。そのためには、どの時期に、どんな青果物が、どのようなルートで流れているのか把握する必要がある。そうした中で新たなニーズやサービスが生まれる」と話している。

更に、「我々のビジネスを伸ばすだけでなく、効率的な配送システムを構築することで、農家の手取り額を増やすことができる。そのためには、どの時期に、どんな青果物が、どのようなルートで流れているのか把握する必要がある。そうした中で新たなニーズやサービスが生まれる」と話している。

更に、「我々のビジネスを伸ばすだけでなく、効率的な配送システムを構築することで、農家の手取り額を増やすことができる。そのためには、どの時期に、どんな青果物が、どのようなルートで流れているのか把握する必要がある。そうした中で新たなニーズやサービスが生まれる」と話している。

更に、「我々のビジネスを伸ばすだけでなく、効率的な配送システムを構築することで、農家の手取り額を増やすことができる。そのためには、どの時期に、どんな青果物が、どのようなルートで流れているのか把握する必要がある。そうした中で新たなニーズやサービスが生まれる」と話している。